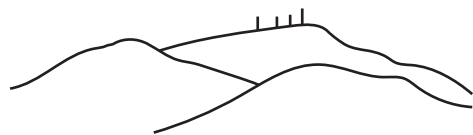


Youth Manna

2019/6/17 - 6/23



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2019/6/17(月)
マタイ 13:10-23

ここにいた群衆も弟子たちも、たとえを理解することが出来ていませんでした。だけど弟子たちはイエス様の側にいたので、たとえの解説を聞くことが出来たんだ。みことばを本当に理解することの鍵は、イエス様のそばにすることだね！

みことばを聞いて思い巡らし、実際にやってみて初めて、多くの実を結ぶ生き方となるんだ。18~23節のイエス様の説明から、私たちは何を受け取り、どのように自分自身に適応させるだろうか？

みことばを聞いて終わるのでなく、その通り生きれるように祈ろう！みことばを聞く私たちの心が今日「良い地」であるように願おう！

2019/6/18(火)
マタイ 13:24-35

自分がクリスチャンとして学校の中で小さく感じることはないかな？イエス様は天の御国は、そのような小さな存在、からし種やパン種のように小さく目立たない存在から始めて、後に大きくなり周りに影響するようになると言ったよ。世にあって少ない人数で小さく見える私たちクリスチャン、教会が人にいのちを与えて人を変革させ御国を広げるんだ！！それは人の力ではなくて、イエス様が共にいて下さる力によるよ。

きみの存在は神様にとって小さくない！！今日学校にいる友人に愛を現そう！！

2019/6/19(水)
マタイ 13:36-46

イエス様は天の御国の事実を、群衆には例えで話され、弟子たちには重要な真理を説明された。それは、天の御国は「隠されるほど重要で価値あるもの」であるからだ。44,45節には「隠された宝」「高価な真珠」とも例えられているね。イエス様の語られている天の御国は、私たちにはまだ理解出来ないことや、これから分かることもあるかもしれない。でも、だからこそ、本気になってそれを見つけ出し獲得するために、求めていく必要があるんだ。

今日、主に心を開き、語ってくださることに耳を傾けることができるように祈ろう！

2019/6/20(木)
マタイ 13:47-58

イエスの教えと業にナザレの人々は驚いたが、55-57「この人は大工の息子ではないか。母はマリヤといい、兄弟たちは、ヤコブ、ヨセフ、シモン、ユダではないか。・・・これらのものをみな、どこから得たのだろうか。」と言って受け入れることを拒んだ。イエスが大工の子であったためです。その不信仰のゆえにイエスは多くの奇跡をなされなかった。

信仰は神様の御業に比例する。もし私たちがキリストを信じていると言っても、不従順であり、神の力を疑って、心に何も思い描けないでいるなら、それもりっぱな不信仰である。改めて自分の信仰を問い直そう。私たちそれぞれが、神の栄光が現されるみわざを切に願い、信仰をもって神の約束の信じ、神の計画の実現を待ち望もう！！

2019/6/21(金)
マタイ 14:1-12

ヘロデは自分の、兄弟の妻であるヘロディアを妻としてめとった。また、ヘロディアは娘を利用して、ヨハネを殺すように仕向けたね。ヘロデの家族の中では、罪深いことが平然と行われていたんだ。みんなのクラスの中ではどうだろう？クラスの多くの人が1人の人を嫌っていたり、影口、よくない話、聖書とは違う恋愛、、、などの罪が平然となされていることはないかな？ヘロデは、ヨハネを殺すことは間違ったことだとわかっていて(9)けれど、人の目を恐れてそれをしてしまった。(9~11)

みんなは、クラスでそのような場面になった時にどうするか？自分はそれをしない、そこから離れる、ということを選びとろう！人の目ではなくて、神様を恐れて、行動や言葉を選びとろう。それらができるように神様に助けを求めて祈ろう！

2019/6/22(土)
マタイ 14:13-21

イエス様は1人きりでいる時間を大切に、旅の途中でも同じく使っているね。その時間は天のお父さんと一対一の時間をゆっくり取るためのものなんだ。それがあってこそ、イエス様は多くの人の叫びを愛をもって聞くことができた。

食事が足りなかった時には、天のお父さんを信頼して、神様をほめたたえてからパンを配った。結果5千人より多い人がお腹いっぱいになり満足した！

天のお父さんと一対一の時間をとろう！そして天のお父さんに信頼して、難しいと思うことも祈ってチャレンジしてみよう！

2019/6/23(日)
マタイ 14:22-36

今日の箇所では、イエス様は五千人の給食のすぐ後に弟子たちと別れ、群衆を返して一人で山に登り、天のお父さんの時間を持ちました。弟子たちはイエス様に聞き従って、向う岸へと向かいしました。弟子たちは湖の波風に悩まされながら、夜通し向う岸へと舟を漕いでいました。25節でイエス様が湖の上を歩き、彼らの元へと向かわれましたが、弟子たちはそれを見ておびえてしまった。話しかけられてイエス様だと思ったペテロは、人間には不可能であることをイエス様は成し遂げられると信じて命じて下さることを願いました。ペテロはその後舟から足を湖の上に運びました。

私たちも失敗を恐れずに信じて踏み出しましょう！神様が望まれていることをしっかりと祈り、聞き従おう！